

AhnLab EPS

OT環境におけるサプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に最適な解決策

導入時
再起動不要

既存システムへ
の負荷無し

旧Windows
Linux対応

閉域ネットワ
ークへの対応可

マルウェア
駆除機能搭載

Firewall
機能搭載



製品概要

Ahnlab EPS (Endpoint Protection System)は、産業制御システム、生産設備システム、POS/KIOSKシステムなど、指定されたプログラムのみを使用する特殊目的システムに最適化されたセキュリティソリューションで、2026年度中の運用開始とされているSCS対策評価制度の★5など、サプライチェーンに対する、より高度な要求への適合が可能です。

主要機能



アプリケーションコントロール

- ・許可リストに基づいたプログラム実行管理
- ・不要なプログラムの実行遮断



ネットワークとデバイス媒体の制御/遮断

- ・保護対象ネットワーク内のデバイス検索
- ・許可されていないIPとポートへの通信を遮断



マルウェア検知・遮断・駆除

- ・マルウェア分析エンジンによるリアルタイムスキャン
- ・Xcanner連携によるマルウェア駆除



安定したシステム運用

- ・Webコンソールによるリアルタイムモニタリング
- ・ネットワーク内のデバイスおよびポリシー管理

★5 対応のためのOT領域特化ソリューション

該当する業界等	業界等におけるニーズ
- 政府機関等 - 重要インフラ事業者 - 主要製造業 等	- 重要な機密情報を有し、高いセキュリティレベルが求められる業界：顧客情報等、重要な機密情報を委託する取引先のセキュリティ管理の実効性に課題あり。厳密な第三者評価、評価結果の開示、技術検証を制度に組み込むことにより、★4以上の活用が期待できる。(例：金融 等) - セキュリティ要求への対応が困難な取引先が含まれる業界：重要な機密情報を委託しているものの、取引先・再委託先企業の人材・予算が十分でなく、自己評価の実効性にも課題を抱えており、取引先への支援策とセットで★3活用が期待できる。(例：金融 等) - サプライチェーン間の結びつきが強い業界：サプライチェーンを構成する事業者の事業停止がサプライチェーン全体に波及するリスクのある業界については、★3～4の活用が期待できる。(例：自動車、半導体等) - サプライチェーンが複雑な業界：取引先・再委託の管理や対策状況の確認に多大なコストが生じるため、取引内容・取引先に応じて★3～4の活用が期待できる。(例：主要製造業)
- BPO事業者 - 製品・部品製造業 等	重要な機密情報・重要な業務の委託を受け、様々な業界からセキュリティ要請を受けている業界・事業者：様々な要請や現地審査に対応するための負担あり。BPOでは、業種・業界問わず統一的に活用されることで★3～4の活用が見込める。ISMS等を既に取得する事業者もあり、既存の取組との整合性が必要。製造業は対応負荷軽減につながれば★4の活用が期待できる。大手事業者の★取得のコスト負担の影響は少ないが、取引先が海外を含む場合は海外制度との整合性が必要。

超軽量設計でシステム負荷を最小化

EPSは高速かつ効率的に動作。導入後もシステムはパフォーマンスを損わず、安全を維持。

リモート管理で運用サポートも効率Up

どこからでもセキュリティポリシーの設定/監視が可能。運用管理者の負担を軽減し効率性Up。

導入が簡単 スムーズ運用開始

短期間で導入、簡単操作、システム稼働しながら運用開始。

セキュリティ対象 産業/分野

製造/工場(OT領域)の制御システム



CPS領域の制御装置へも対応/導入可能

